

特別国民体育大会鹿児島市開催運営基本方針

1 基本理念

温もり つなぐ 特別国民体育大会

2 基本方針

令和5年の特別国体は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により史上初めて延期された大会として開催されることから、安心・安全な大会運営を目指します。

第75回国体の開催に向けて準備してきた成果物や得られたノウハウを最大限に生かすとともに、競技会運営やサービス水準を見直し、簡素・効率化をさらに進めて開催経費の縮減を図るほか、デジタル化やSDGsなどの新たな視点も積極的に取り入れるなど、利便性や満足度を一層高めます。

本市の多彩な魅力を全国から来訪される選手、一般観覧者など全ての方々に体感していただくとともに、市民総ぐるみで特別国体を盛り上げ、鹿児島らしい心のこもったおもてなしで、温もりに満ちた大会にします。

国民体育大会としては最後の特別国体を、選手や競技団体をはじめ地元開催を期待している市民の皆様の思いを結集して成功させるとともに、令和6年に佐賀県で開催される最初の国民スポーツ大会につなげます。

3 基本目標

(1) 安心・安全の確保

選手、一般観覧者など全ての方々の安心・安全を最優先に確保するため、県や関係機関・団体等と緊密に連携し、感染症対策や災害対策など各種事態に適切に対応できる環境整備やルールづくりに取り組みます。

(2) 開催経費の縮減

開催経費を削減するため、競技会場の設営物の小型化や物品の共通化を図り、これまでに準備してきた成果物や得られたノウハウを活用して業務時間の短縮化を進めるなど、開催延期となった利点を最大限に生かし、さらなる簡素・効率化を進めます。

(3) デジタル化・SDGsの推進

利便性や満足度を高めるため、競技などの情報の提供・受取のスピードアップ、ワンストップ化を図り、さらにリアルタイムの開催情報の発信などでデジタル技術の活用を推進します。また、SDGsの達成に向けて行動するため、環境に配慮した物品の使用や公共交通機関の利用促進、競技会場内で提供する食品ロスの削減に努めます。

(4) 地域の魅力発信やスポーツを通じた交流の促進

多様な交流を促進するため、世界に誇りうる自然資源や個性ある歴史・文化、良好な景観・都市空間などの魅力を発信するとともに、国内トップアスリートが繰り広げる熱戦を体感しスポーツの価値や素晴らしさを共有できる環境づくりにも取り組みます。

(5) 市民みんなで一緒になった取組の推進

まちの活力とにぎわいにつなげるため、市民や関係団体、学校などとともに開催を盛り上げ、選手、一般観覧者など全ての方々を感謝と心のこもったおもてなしで受け入れるなど、市民みんなで一体となった取組を進めます。